

東京の林業振興に向けた専門懇談会（第3回）

次 第

令和5年2月7日（火）
10時30分～12時30分
都庁第一本庁舎21階
海区漁業調整委員会室

1 開会

2 議事

（1）令和5年度の主要な林業振興施策について

（2）インターネット都政モニターアンケート結果について

3 閉会

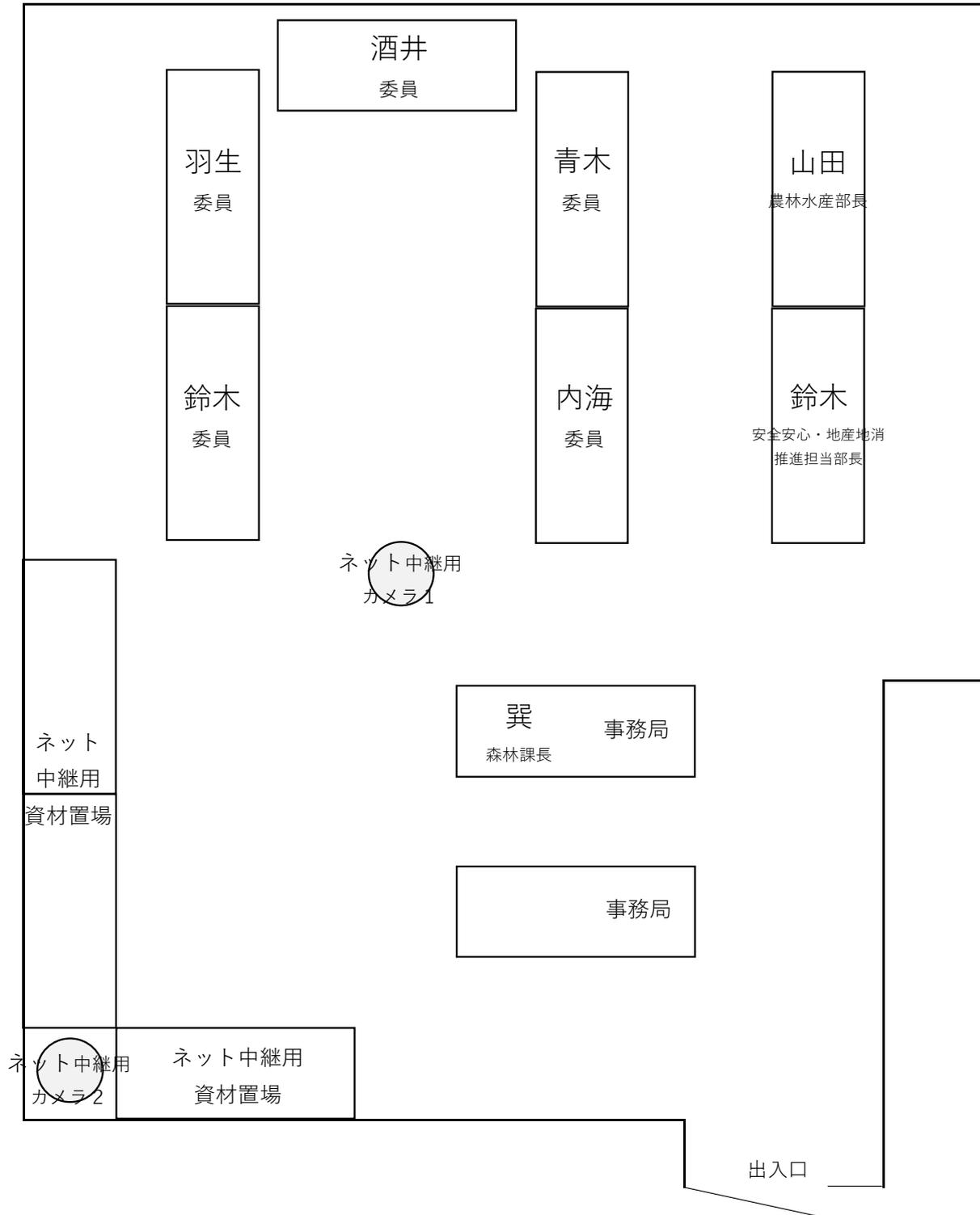
東京の林業振興に向けた専門懇談会 専門家等名簿

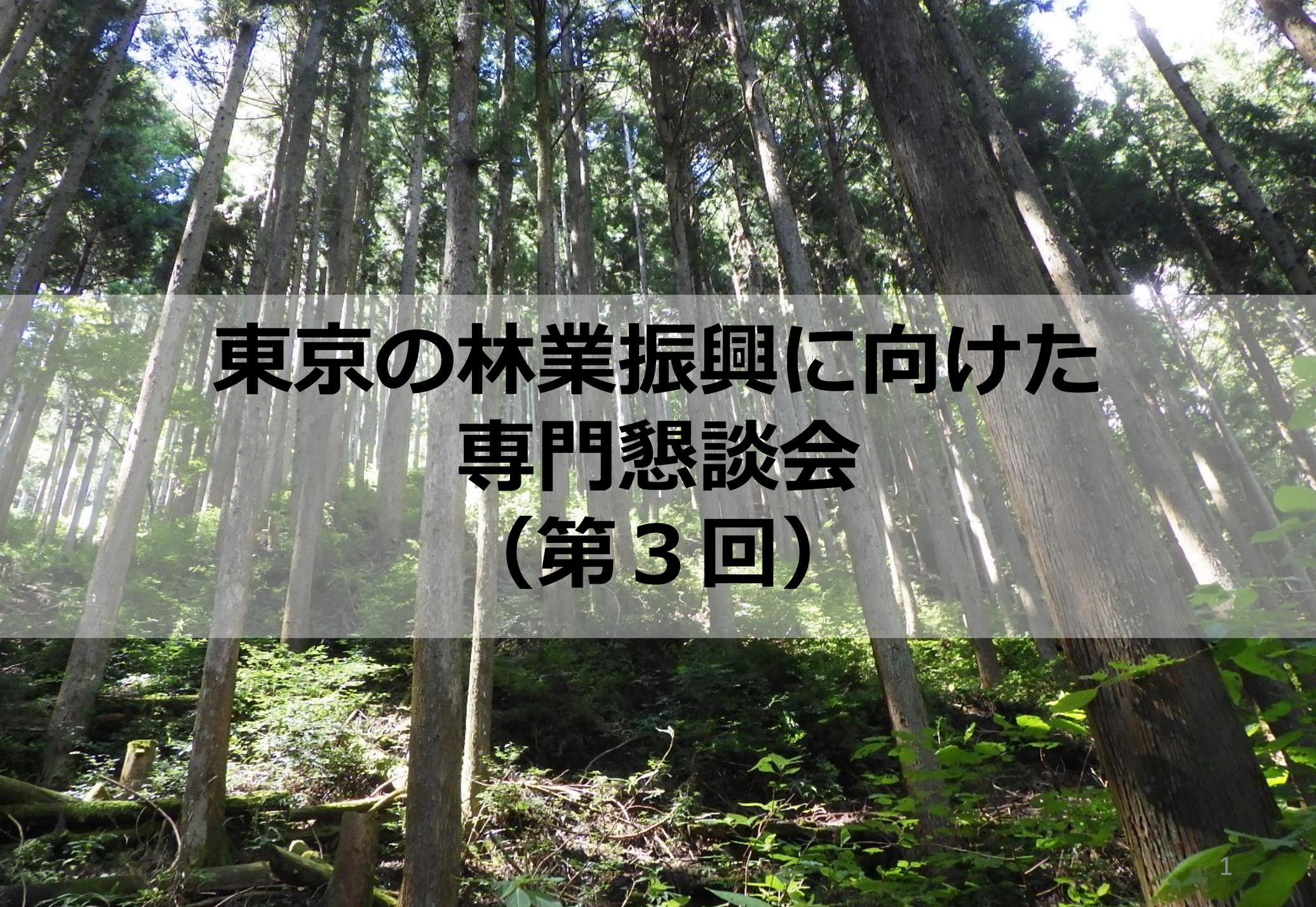
氏名	現職等
青木 亮輔	株式会社東京チェーンソーズ 代表取締役
内海 彩	株式会社内海彩建築設計事務所 代表取締役
酒井 秀夫	一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 会長
鈴木 敦子	認定NPO法人環境リレーションズ研究所 理事長
羽生 岳史	塔婆 護摩札 製造販売元 八代目 羽生文右衛門

(五十音順、敬称略)

東京の林業振興に向けた専門懇談会（第3回） 座席表

令和5年2月7日（火） 午前10時30分開会
都庁第一本庁舎21階 海区漁業調整委員会室





**東京の林業振興に向けた
専門懇談会
(第3回)**

令和5年度の主要な林業振興施策

国産木材の利用機運の高まり等を踏まえ、東京の森林・林業の更なる振興を図るため、専門家のご意見を参考に、以下の施策に取り組んでまいります。

1 森林整備分野

林業従事者の伐採・搬出技術の向上

- 東京の急峻な地形で伐採・搬出できる技術者の確保・育成のため、架線集材に必要な資格取得の講習会の開催や、先進企業への派遣による都内林業事業体の技術向上の支援



林業における最先端林業機械の導入

- デジタル技術を活用し遠隔操作が可能な最先端の林業機械を調達して、林業事業体に無償貸与



ICTを活用し、効率的にシカを捕獲

- これまでの銃器によるシカの捕獲を強化するとともに、植栽地を中心に、新たに無線管理を活用した箱罠による捕獲方法を実証



都市部と山間部の自治体が連携した森林整備

- 森林環境譲与税を活用し、都市部と山間部の連携による森林整備等の促進を支援
- 都民に向けて森林整備の必要性等を情報発信し、機運を醸成



2 木材流通分野

都内の木材流通業者等の輸送コストの助成

- 製材業者が多摩産材を工務店等に出荷する際や、木材流通事業者が多摩産材や国産木材を集荷する際の輸送費を助成



3 木材利用分野

国産木材の展示商談会の実施

- 国産木材の需要拡大に向け、展示商談会「モクコレ」及び「JAPAN ReWOOD」を開催し、木材・建築関係者向け及び消費者向けに、木材製品の展示や情報発信を強化



多摩産材の新たな情報発信拠点の整備

- 建築事業者や都民等の消費者に対する多摩産材の認知度を高めるため、都心部に新たな情報発信拠点を整備



木材利用ポイントの対象をリフォームまで拡大

- 多摩産材及び国産木材の利用量に応じてポイントを提供し、東京の農畜産物等と交換できる事業について、新築の戸建てに加え、リフォームを対象に追加



インターネット都政モニターアンケート調査の概要について

■ テーマ

東京の森林・林業

■ 目的

東京における森林整備と林業振興に関する施策を推進するにあたり、森林・林業に関する関心や期待など、都民の意向を把握し、今後の施策展開の参考とする。

■ 期間

令和4年11月30日（水曜日）から12月6日（火曜日）まで

■ 方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。

■ 対象

18歳以上の都内在住者

■ モニター数

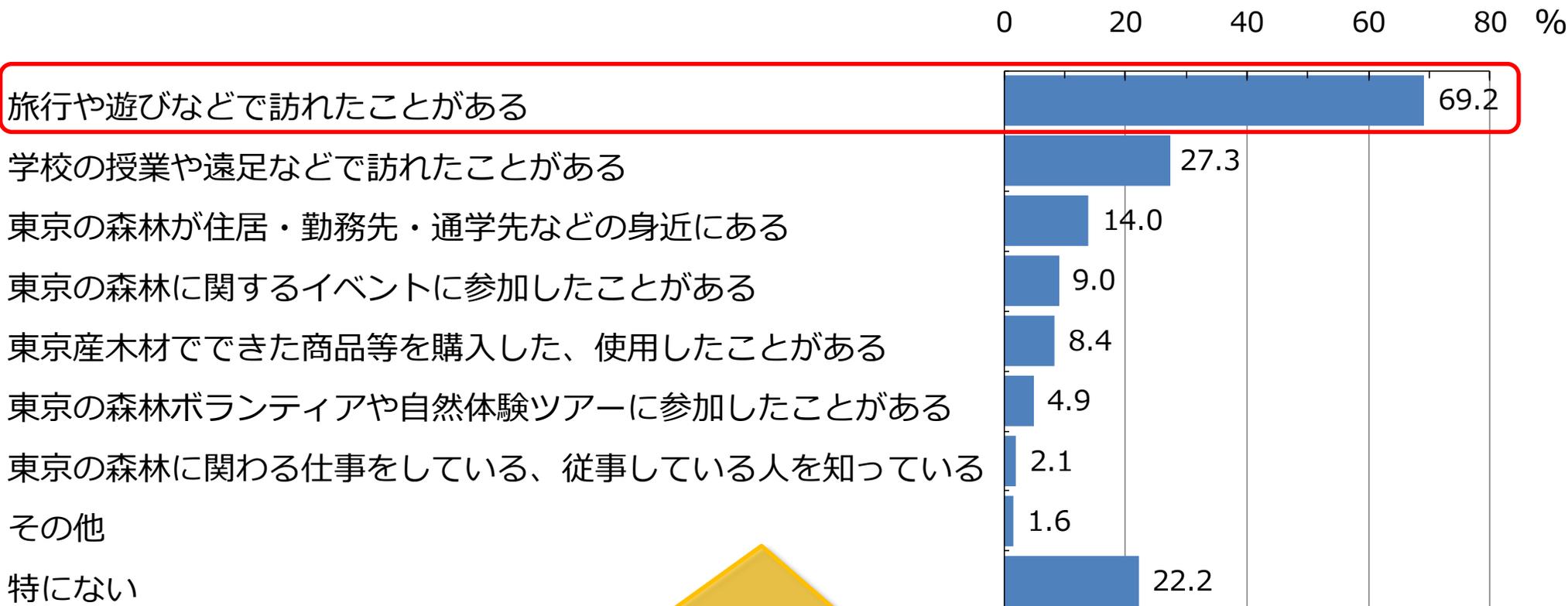
500人

■ 回答者数

487人（回答率97.4%）

インターネット都政モニターアンケート結果について①

- あなたは、これまでに、東京の森林と接したり関わったりしたことがありますか。
(選択式：いくつでも)

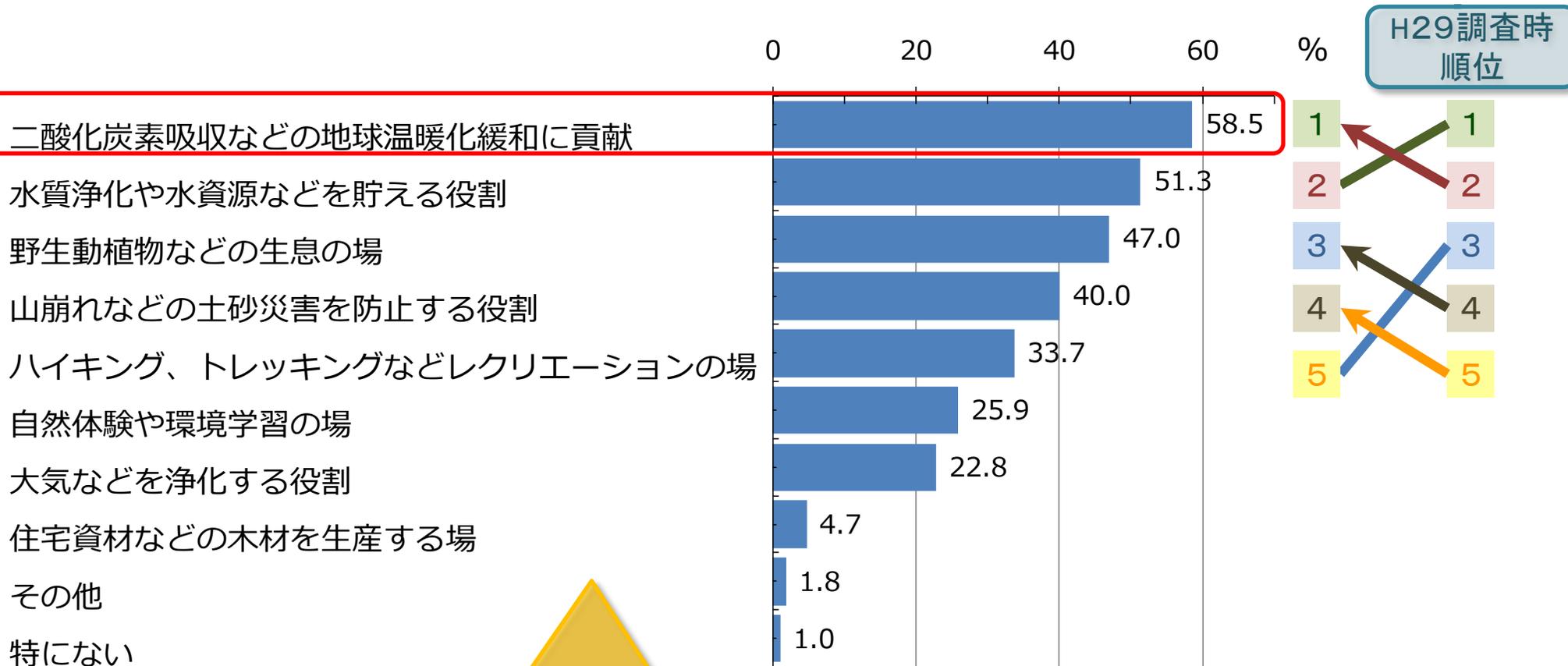


【旅行などで訪れたことがある】方が、約7割で最も高い

インターネット都政モニターアンケート結果について②

■ あなたは、東京の森林にどのような機能や役割を期待しますか。

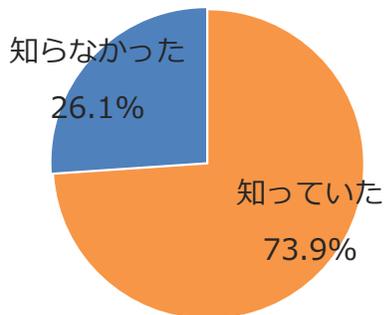
(選択式：3つまで)



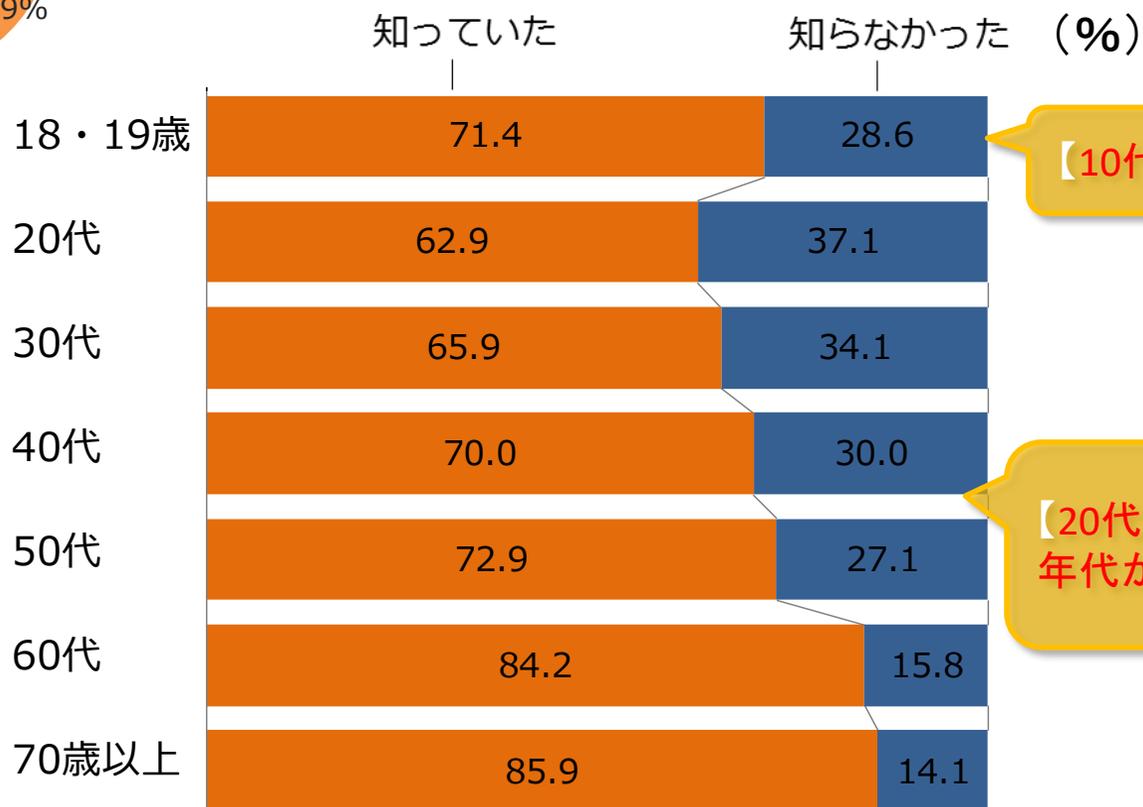
【二酸化炭素吸収などの地球温暖化緩和に貢献】が、約6割で最も高い

インターネット都政モニターアンケート結果について③

■ あなたは、人工の森林を適正に管理するために、伐採が必要なことを知っていましたか。



【人口の森林を適正に管理するためには伐採が必要】なことを、約7割超えが認知

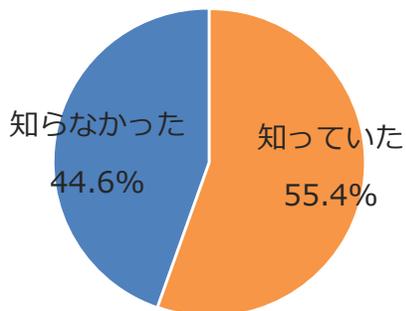


【10代】の方は、7割超えが認知

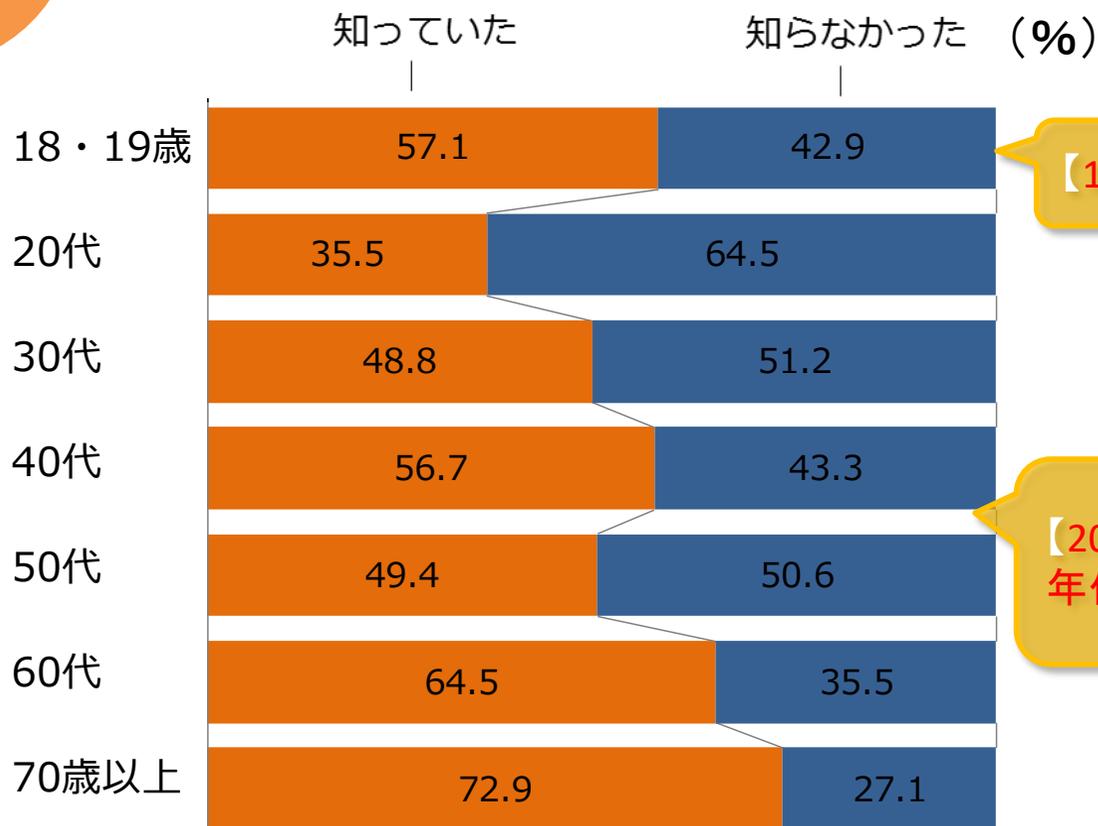
【20代～70歳以上】の方は、年代が高いほど認知度が高まる傾向

インターネット都政モニターアンケート結果について④

■ あなたは、東京においても、林業が営まれていることを知っていましたか。



【東京でも林業が営まれている】ことを、過半数が認知

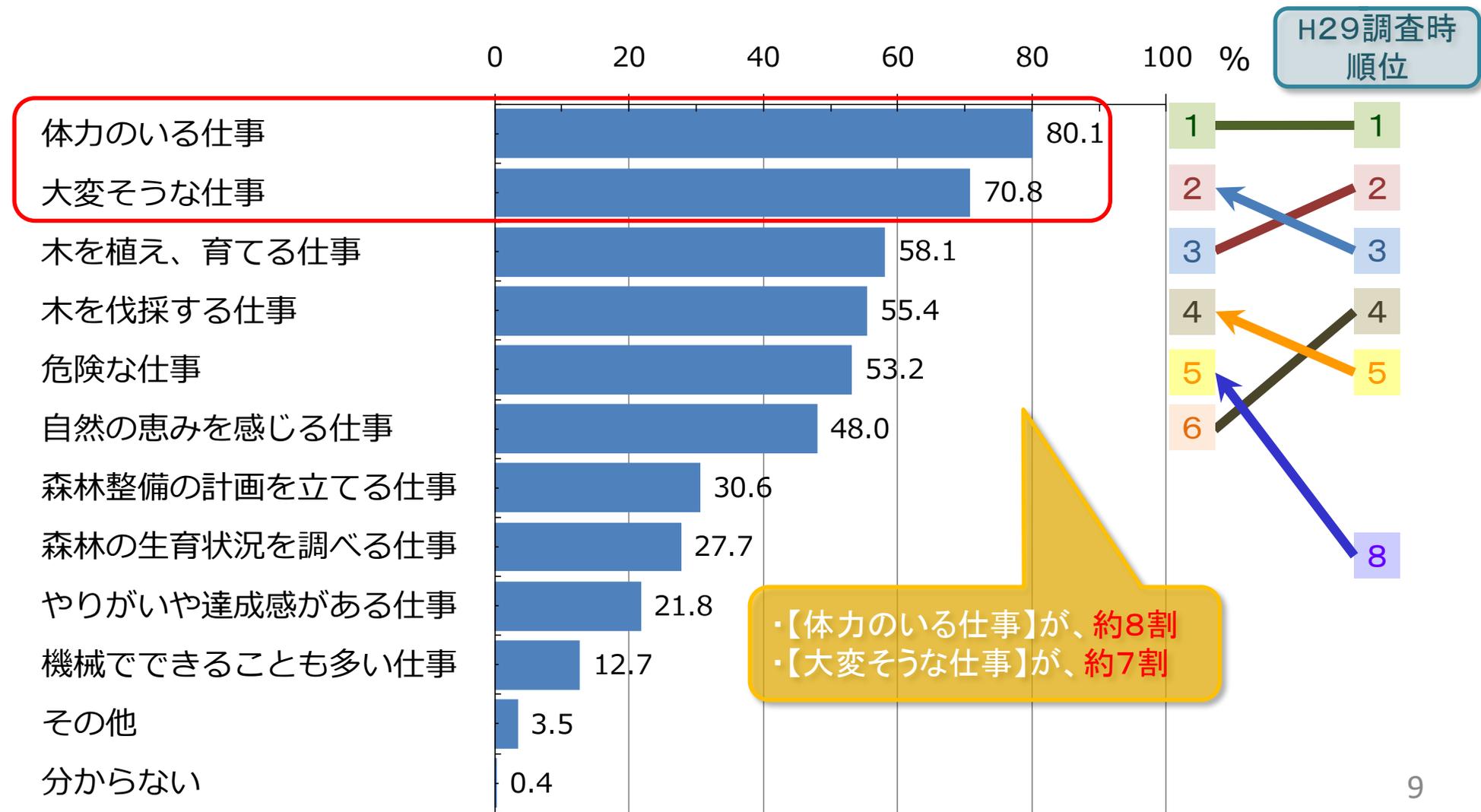


【10代】の方は、約6割が認知

【20代～70歳以上】の方は、年代が高いほど認知度が高まる傾向

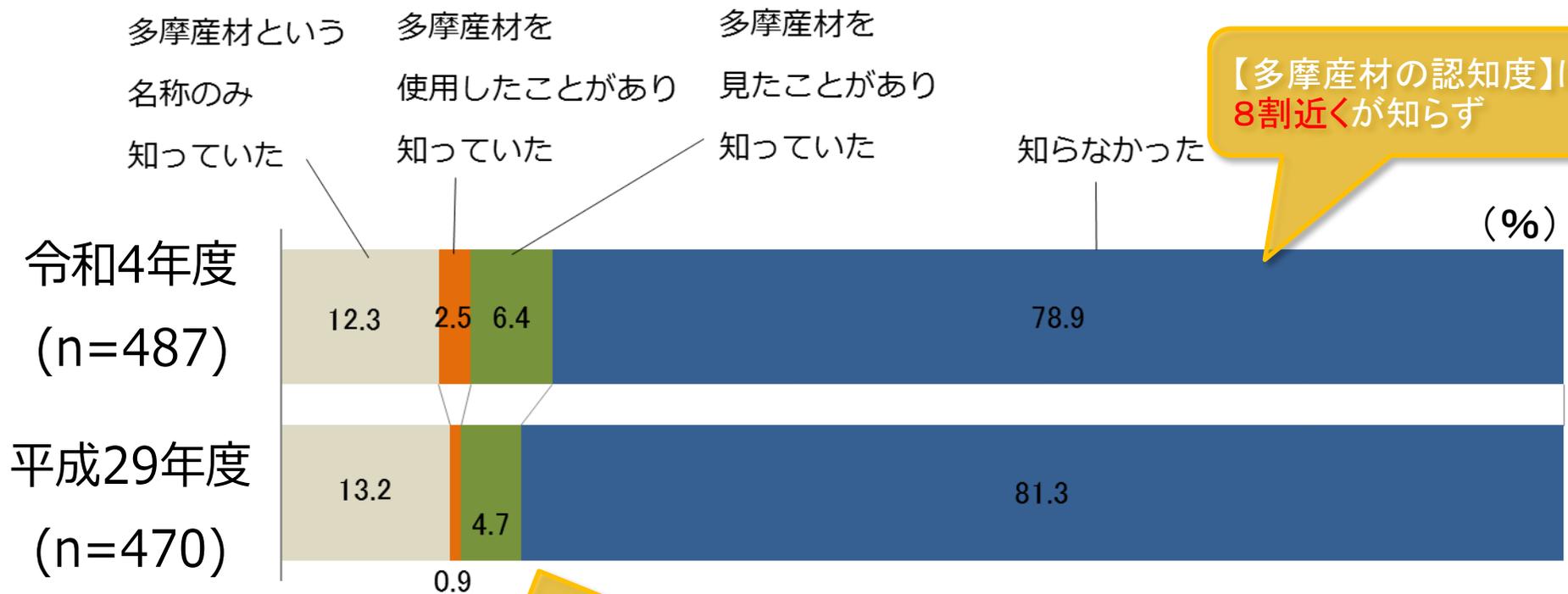
インターネット都政モニターアンケート結果について⑤

■ 林業関係の仕事について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。 (選択式：いくつでも)



インターネット都政モニターアンケート結果について⑥

■ あなたは、多摩産材を知っていましたか。

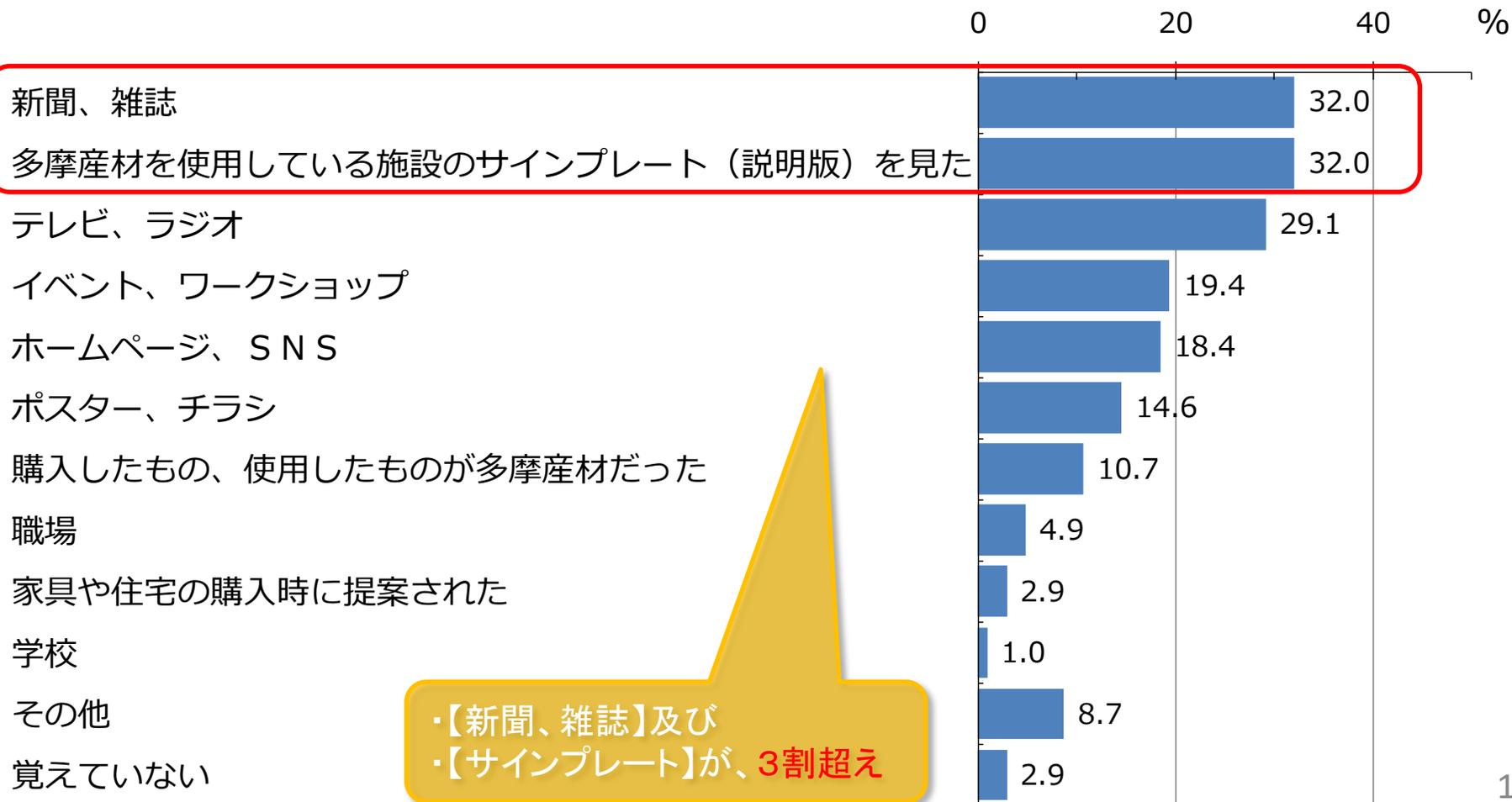


【多摩産材の認知度】は、**8割近くが知らず**

【使用したこと/見たことがあり知っていた(計)】は8.9ポイントで、H29調査と比べて、**3.3ポイントの増加**

インターネット都政モニターアンケート結果について⑦

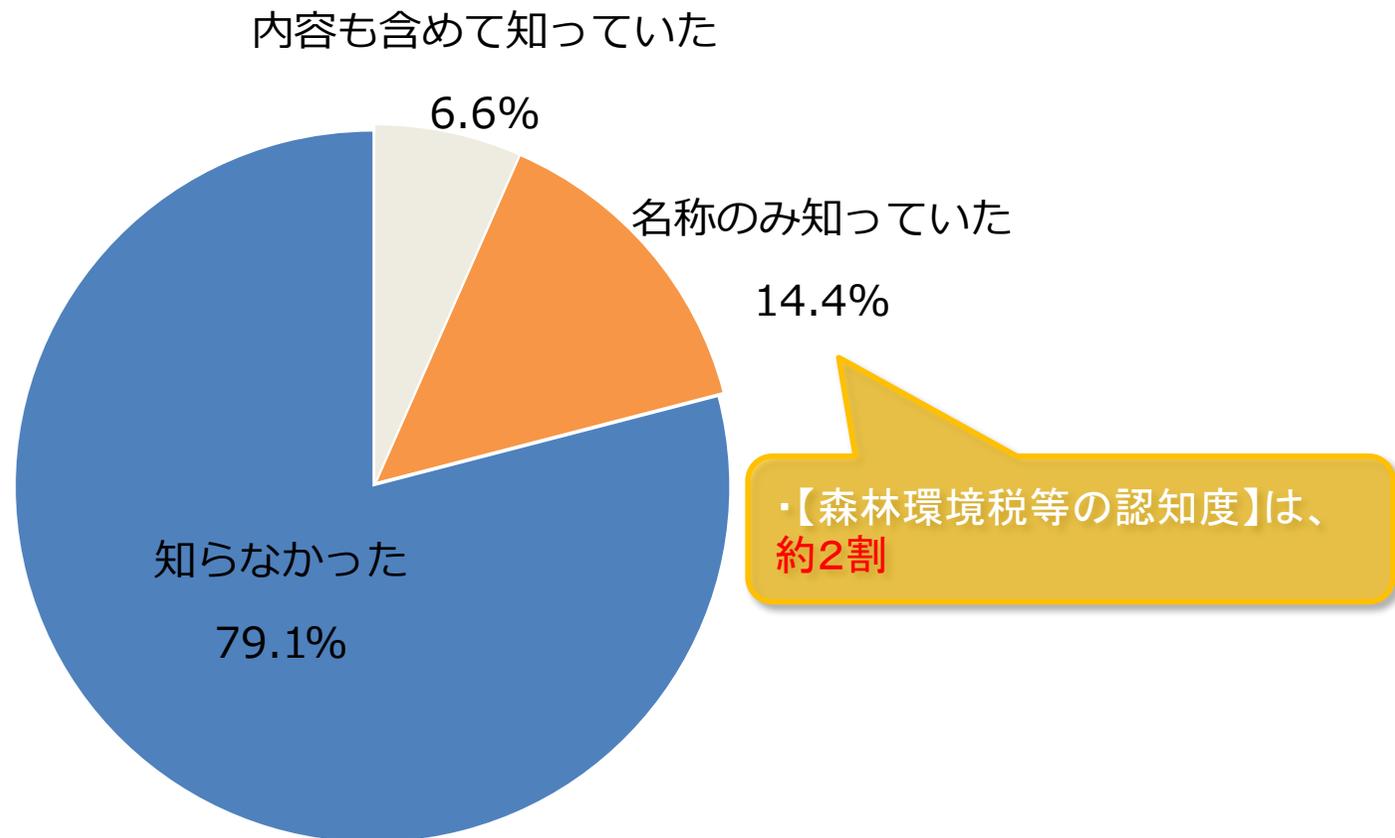
- 「多摩産材という名称のみ知っていた」、「多摩産材を使用したことがあり知っていた」、「多摩産材を見たことがあり知っていた」を選択した方に伺います。あなたが、多摩産材を知ったきっかけは何ですか。 (選択式：いくつでも)



・【新聞、雑誌】及び
・【サインプレート】が、3割超え

インターネット都政モニターアンケート結果について⑧-1

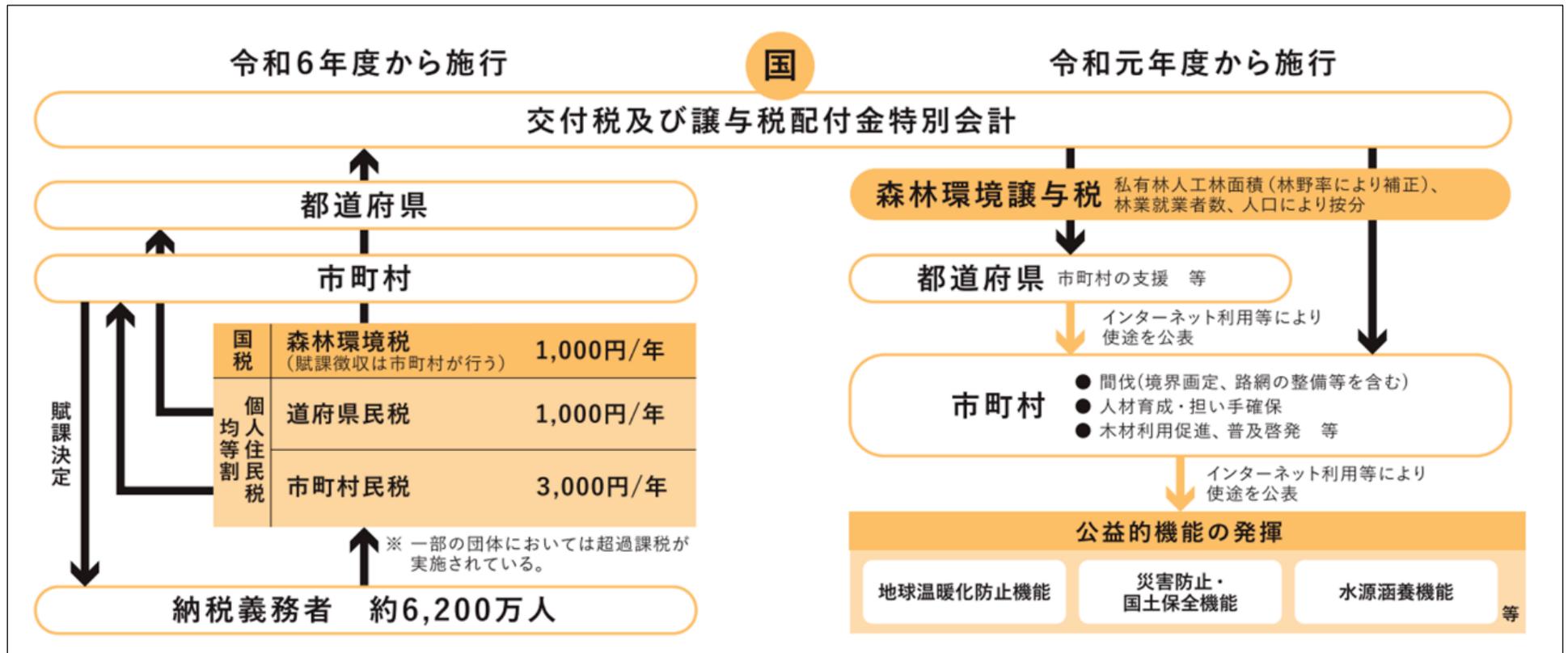
■ あなたは、森林環境税及び森林環境譲与税を知っていましたか。



インターネット都政モニターアンケート結果について⑧-2

(参考)

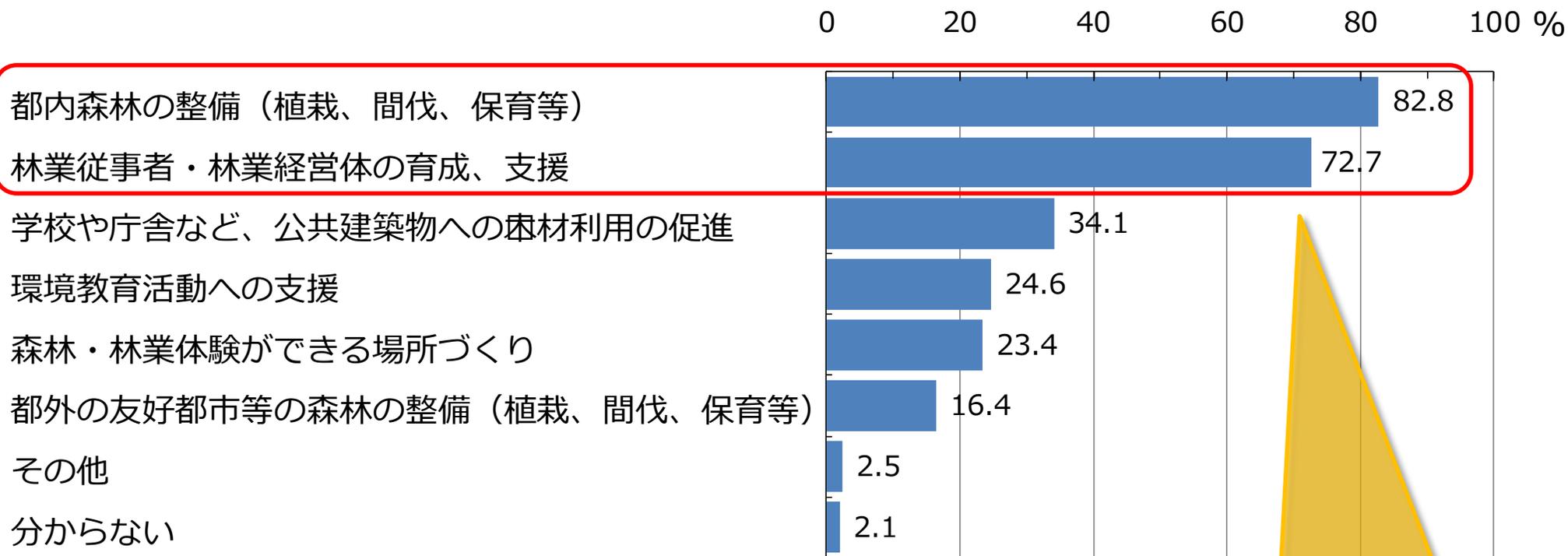
- 森林環境税: 個人住民税均等割と併せて、1人年額1,000円を国税として徴収。
- 森林環境譲与税: 森林環境税の税込額を、都道府県・区市町村へ譲与。
譲与税は「森林整備及びその促進に関する費用」や「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充て、使い道を公表。



インターネット都政モニターアンケート結果について⑨

■ あなたは、森林環境譲与税の用途として、何に活用すべきだと思いますか。

(選択式：3つまで)



- ・【森林の整備】が8割超えで最も高い
- ・【林業従事者等の育成、支援】が、7割超え

インターネット都政モニターアンケート結果について⑩-1

- 東京の森林・林業や多摩産材について、ご意見をご自由にお書きください。

1 広報の推進

○森林・林業全般のPRに関すること

- あまりこういう事例を見聞きすることが少なく、もっと積極的に情報発信するべきと思います。（女性 70歳以上 品川区）

○子どもへの木育に関すること

- 多摩産材、木の香り、ぬくもり。幼児のころからの体験学習が特に大事だと思います。おもちゃも木で作ってあったりしたら、感性が磨かれて自然の教育となると思います。ぜひとも広げてください。（女性 70歳以上 島しょ）

- 東京の森林・林業や多摩産材について、ご意見をご自由にお書きください。

2 労働力対策

○就業希望者へのPRに関すること

- 林業に興味があっても、都内の多摩で仕事ができると知る人は少ないのでは。自然の中で働くことに憧れる若者は多いと思うので、東京でできることをアピールすべきだと思う。（女性 40代 府中市）

○施策に関すること

- 林業に従事することは大変なことだと思うが、これからも東京の森林が守られていくことを願う。そして、林業に携わっていらっしゃる方々への支援がしっかりと行われていくための体制を整えていただけたらうれしい。（女性 10代 荒川区）

- 東京の森林・林業や多摩産材について、ご意見をご自由にお書きください。

3 多摩産材(国産木材)の利用促進

○多摩産材のPRに関すること

- 多摩地域に住んでいますが、多摩産材について何も知らなかったもので、もっと積極的にアピールしていいと思います。(女性 30代 八王子市)

○使用用途に関すること

- 木材は公共施設などに活用して、幅広い年齢層が触れ合えるようになったらいいと思います。建物だけでなく子供なら積み木、遊具など。高齢者にはベッドなど。(女性 50代 新宿区)

インターネット都政モニターアンケート結果について⑩－４

- 東京の森林・林業や多摩産材について、ご意見をご自由にお書きください。

4 その他

○花粉症対策に関すること

- 森林と聞いてまず花粉症のことが思い浮かびました。継続的な林業のために、人材育成は急務との事ですが、花粉症解消のための事業を計画して、**無花粉の杉や松に植え替えていく事業**は都民の理解を得やすいのではないかと思います。

(男性 20代 新宿区)

○森林の公有化に関すること

- 環境問題の観点から森林保全は公益的利益の多い事業だと思うので、**国や都が所有**することも意味があると思います。(女性 40代 北区)

○管理の方向性に関すること

- **資源としての森林と、癒しの場としての森林**の両方を維持管理していく必要があると思います。(女性 50代 港区)